

# 大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター 子どもの安全ラボ

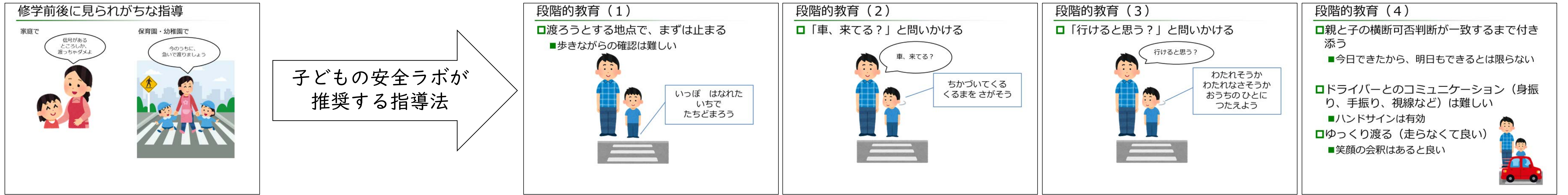


## ラボの概要

子どもの不慮の事故を減らすための実験・調査と、その成果をもとにした教材開発を目指す。親子で過ごす日常生活に自然と取り入れられる教育ツールの作成や、教諭・保育士による学校等（主に幼・保・小）での安全教育の普及に資する実践的研究を行う。

## 主な研究・教育実践例

親子で参加する交通安全教室（オンライン版）：就学期児童への道路横断方法の指導



×よく見られる指導方法だが、  
子どもの横断スキルは高まらない

○「右、左、右を見る」というが、具体的に何を見るべきか、本質を知らせよう！

## 遊具での事故実態調査とその認識調査



(独)日本スポーツ振興センターによれば、幼稚園・保育所・認定こども園などで負傷した未就学児に対する災害給付件数は、2014年度～2018年度の5年間で332,356件あり、その約2割の64,745件は体育用具・遊具での負傷だった。

クイズ① 左の10の遊具のうち、女児の負傷者数が男児の負傷者数よりも多いものが3つあります。どれでしょう？

クイズ② 左の10の遊具のうち、負傷者数が最も多いものはどれでしょう？また最も少ないものはどれでしょう？

答えを思い付いたら、右のQRコードで答えを確認してください⇒



子どもの事故防止には、大人の監督が重要だが、そのためには事故実態を正しく認識しておく必要があるだろう。

## 産学連携の取り組み例



■ 株式会社宮田運輸  
・ 季刊誌への寄稿、交通安全イベントへの登壇



■ 日本ノート株式会社  
・ かんがえる学習帳 表紙裏コンテンツの監修



■ 株式会社ダイワホーサン  
・ 子ども用ライフジャケット開発

## 書籍出版に向けて

寄附型 #大阪府 #社会にいいこと #子ども・教育 #医療・福祉 #本・漫画・写真 #寄附型 #ママのチャレンジ

子育て世代が知っておくべき、日常に潜む危険を伝えたい

岡まゆみ



大阪大学  
事故で夫を亡くした研究者が  
子どもの危険を学ぶ本をつくる

当初の想定より、  
随分遅れていま  
すが、現状は…

<https://readyfor.jp/projects/bookstart>

2020年、クラウドファンディングにより、  
多くの皆様からご寄付を頂戴しました。  
ご協力くださった方々、本当にありがとう  
ございました。

2023年の早い時期を目処に、Kindle ダイレクト・パブリッシングによる出版に向け、準備を進めています。

